

□■養成所ニュースプラス第1号 2025□■

今週から、今年度の「養成所ニュースプラス」の配信を始めます。第36期生や第37期生、そして配信希望の修了生の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

このメルマガでは、当養成所での学習や国家試験に関する情報をお伝えしていきます。また、Plus Columnでは、37期生向けに今号から3号まで「レポート作成講座」を、4号からは主に36期生や既卒生向けに「受験対策ミニ講座」を掲載します。国家試験の合格発表まで一緒に歩いていきましょう。37期生も、来年への準備期間としてお付き合いください。

Plus Quizでは、国家試験の過去問題を紹介します。今回は1学期レポート科目の「医学概論」から、思春期・青年期における心身の特徴についての問題です。過去問は、正解を覚えるのではなく、正解でない選択肢のどこを直せば適切になるか考えることが大切です。早速、やってみましょう。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【第37回問題1】思春期・青年期における心身の特徴に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 思春期には、男女ともに緩やかな身体の変化がみられる。
2. 思春期における心理的特徴としては、自意識過剰がある。
3. 思春期には、アイデンティティは形成されている。
4. 第二性徴に性差はみられない。
5. 青年期の死亡原因としては心疾患が最も多い。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(36期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・(37期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。
- ・(37期生)見込書類(実務経験証明書)のさしかえについて
入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。
- ・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第38回国家試験は、令和8年2月上旬です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1516225&c=3246&d=99c7>
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1516226&c=3246&d=99c7>

■Plus Info・・・・・・・・

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1516227&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1516228&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【レポート作成講座第1回／課題と対話する】

第37期生入学オリエンテーション動画では、「ソーシャルワーク演習」のレポート課題についてお伝えしました。今回はそれ以外の5科目を確認していきましょう。

レポート課題で担当教員は何を評価するのか、それを示しているのが<レポート作成のポイント>です。何が求められているのかを理解してから書き始めましょう。

「医学概論」の課題番号1では、レポート作成の手順が、同じく課題番号2では、レポートで述べるべき内容が表されています。「心理学と心理的支援」「社会学と社会システム」でも、同様に示されています。内容に漏れがないように作成しましょう。

また、具体例や事例を挙げて述べるのが指示されている課題もあります。「心理学と心理的支援」の課題番号1では、「援助現場における」「具体例とともに考察すること」、同じく課題番号2では、「日常生活」で「ストレス反応を引き起こす出来事」。「社会学と社会システム」の課題番号1では、「自分が関係している具体的な組織・集団を分析し」、同じく課題番号2では「概念を用いて自分の社会的な経験を分析し」とあります。このような場合は、必ず経験や具体例、事例をまとめて述べてください。事例をもとに知識や価値・倫理をもって考察することは、ソーシャルワークの学びでもとても大切な過程になります。この機会を大いに活用しましょう。

「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワークの理論と方法(1)」は「あなたの考えを述べなさい」と課題文にあります。テキストをそのまま写すのでは自分の考えを述べることにはなりません。他人の考えと自分の考えは分けて書くことを意識してみましょう。論理の飛躍や主観的な「決めつけ」がないか点検することも必要です。

「受講の手引」18ページに「課題を理解すること」は、出題者の言っていることを「傾聴」することと書きました。傾聴という技術を使い、出題者の意図を受け止めて、取り掛かることにしましょう。次回は文章作法についてお伝えします。

※科目名については、丸数字が文字化けするため算用数字で記載しています。

【Plus Quiz 正答と解説】

国家試験1科目の「医学概論」問題1で勢いに乗れるか、躓くかは、当日の解答ペースに大きく影響します。第36回問題1のスキヤモンの臓器別発育曲線(共通科目1p.3)は難問でしたし、第34回問題1(加齢に伴う身体の変化)は択一問題にもかかわらず、複数の選択肢が正答となることが後日試験センターから発表されました。ひとつに絞り込むのに時間を費やした方もいたことと思います。

第37回問題1は、出題基準の中項目「ライフステージにおける心身の変化と健康課題」から出題され、頻出の項目です。第35回では思春期に伴う心身の変化が出題され、正解ではなかった選択肢1「この時期の心理的特徴として、自意識に乏しいことが特徴である。」が、今回の正解の選択肢2に作り替えられています。

過去問は正解を暗記してもあまり意味がありません。全く同じ問題は出題されないからです。正解でない選択肢のどこを直せば適切になるか考えることが大事です。今回の問題から、次の国試の選択肢が作られるかもしれません。

「思春期・青年期における心身の特徴」は共通科目1p.5～7に該当部分があります。思春期や青年期の特徴とともに、時期も確認しておきましょう。

1. ×思春期には、急激な身体の変化がみられます。人間の身体が急激に成長するのは、乳幼児期と思春期の2回です。スキヤモンの発育曲線でもS字型を示します。

2. ○思春期には、自意識過剰の他にも不安や刺激に対する過敏性等の心理的特徴があります。
 3. ×思春期はエリクソンの青年期の発達課題にある「自我同一性（アイデンティティ）を獲得すること」に向けた準備時期と考えられます。思春期にはアイデンティティは形成されていません。
 4. ×第二次性徴には性差があり、一般的に女性は男性よりも約2年早いと言われます。
 5. ×青年期の死亡原因で最も多いのは自殺です。2023（令和5）年の人口動態統計では、10～14歳の死因は自殺、悪性新生物、不慮の事故、15～19歳の死因は、自殺、不慮の事故、悪性新生物となります。
- ※人名表記は国家試験の表記に合わせています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus